

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1470600824
法人名	株式会社 日本ケアリンク
事業所名	せらび保土ヶ谷
訪問調査日	平成20年3月17日
評価確定日	平成20年4月8日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年 3月 22日

【評価実施概要】

事業所番号	第1470600824号
法人名	株式会社 日本ケアリンク
事業所名	せらび保土ヶ谷
所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町1219 (電話) 045 - 370 - 3307

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1 - 2 - 4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成20年3月17日	評価確定日	平成20年4月8日

【情報提供票より】(平成 20年 2月 10日事務所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人	
職員数	17人	常勤 12人	非常勤 3人	常勤換算 14.8人

(2) 建物概要

建物構造	(鉄骨)造り
	2階建ての (1)階 ~ (2)階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	40,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 300,000 円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (2月10日 現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低	64 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東川島診療所・けやき歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは最寄り駅から徒歩10分、高台の静かな住宅地の中にあります。近くには交流している中学校や駐在所があり、隣りには協力歯科医院があります。ホームは広々とした敷地があり芝生や花壇には花が咲き、さくら、もくれんなどの植木と収穫を楽しむ畑があります。建物は法人の豊富な経験と実績をもとに設計されていて、ガラスを使用し、終日陽光が差し込む明るいホームです。法人の理念のもとに、利用者は住み慣れた「第二の家」で日常生活のモットーである、いつも笑顔で、明るく、楽しく、元気に暮らす利用者と職員の世界がありました。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	行政や地域との交流の拡大などの課題に引き続き取り組み、利用者へのサービスの質の向上に努めています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価や外部評価のサービス評価の意義を認識し、各ユニット代表を中心に取り組み、内容はユニット会議、介護会議で共有しサービスの向上に努めています。施設では更に独自のアンケート調査が実施され、利用者の支援に生かしています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には家族代表、民生委員、町内会代表、地区社協、包括センターなどの参加の他に地域の消防署や警察署にも積極的に呼びかけて、ネットワーク作りにより利用者がより安全に、安心した暮らしができるよう取り組んでいます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の金銭出納の明示や事業所だよりなどで、利用者の暮らしがりが家族に報告されています。家族の意見や、要望は運営推進会議、家族会、面会時に聞きホームの運営とサービスへの反映を図っています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域における、清掃、お祭り、子供会などの行事には積極的に参加しており、ボランティアの受け入れ、近隣への散歩、動物園、イチゴ狩り、市内、市外へのドライブなど外出の機会も多く地域との交流や外部とのふれあいの場を作っています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人独自の「せらび」の理念を掲げて心のこもった、温かい、利用者それぞれの「第二の家」を目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の基本理念、運営理念、活動目標を分かり易い解説を加えて、玄関や1階、2階ホールなどに掲げてその実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃活動や、学校の文化祭などに参加したり、施設の納涼祭で近隣の人々と一緒に楽しんだりしている。ボランティアや中学校の体験実習なども積極的に受け入れ、地域とのふれあい、交流を盛んにしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義を理解し、各ユニットが参画してサービスの向上や地域との交流拡大に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には地域の消防署にも参加を呼びかけ、消防訓練や緊急時の対応に生かしている。新たに近くの駐在所の参加を依頼し、利用者の安心、安全に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との関わりは少ないが今後は、包括支援センターなどを介して交流を深め、さらにサービスの質の向上に取り組もうとしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の出納の報告と事業所便りを送っている。行事への参加時の写真や利用者の日常の様子なども一緒に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会の開催時家族の声を聞いたり、家族の訪問の機会には、都度意見、要望を積極的に聞くようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員面談やアンケートを行い、職員の声をとりあげてモチベーションを上げるよう取り組んでいる。働きやすい職場環境を整え、離職率を下げるよう努力している。異動がある場合には急に変わるのではなく、徐々に慣れるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年法人本部で職員の段階に応じた年間研修計画が実施されている。事業所においても内部、外部の研修に随時参加しており、新人には資格取得の支援など人材の育成、技能の向上、資質の向上に積極的に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の老人ホームとの交流やグループホーム連絡会の研修会をとおして同業者との交流をしている。今後は運営推進会議の充実を図り、会議をとおして同業者との交流を深め、さらにサービスの向上に努めようとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	居室には馴染みの家具、調度品や仏壇などを配し「第二の家」としての雰囲気に配慮している。懐かしい横丁の店や思い出の場所へ出かけたり、家族と相談しながら、きめ細かな対応をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は利用者の喜怒哀楽を自然体で共有するように努めている。利用者の感情表現を大切に、喜びや楽しさ、寂しさを自由に表現できるよう意図的にかかわるようにしている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日々のケアの中から生まれる会話にヒントを得て利用者の故郷への小旅行を計画、実行したり、本人、家族の意向のバランスをみながら針仕事をお願いする等思いや意向の把握などの対応を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	家族やかかりつけ医と連携を図りながらユニット会議やケアカンファレンス等で意見を出し合い介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	モニタリングは毎月行っている。日々の生活の様子を記録し会議で話し合っている。基本的には6ヶ月毎に見直しを行っているが、入院等状態の変化が見られたときは随時見直ししている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携加算を受けており、月2回看護師の訪問がある。利用者、家族の状況に応じてかかりつけ医への受診付き添いにも対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関との連携は良好に保たれている。現在利用者は提携医療機関にて受診しているが、希望があれば他の医療機関での受診も可能である。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人には「重度化した場合に係る指針」が用意されている。重度化した場合にはかかりつけ医、家族、事業所で話し合っていくという体制は整えられている。看取りについては今後の検討事案と考えている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	内部研修に接遇を取り入れることになり、より一層言葉かけや対応に対する意識や技術の向上を目指している。個人情報に関する記録等は鍵のかかるロッカーに保管管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	訪問時、体操される方、昼食の食材の下ごしらえを手伝う方、雑巾を縫われる方等それぞれ思い思いに過ごされていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえ、テーブル拭き、配膳、食器洗い等一人ひとりの力に合った役割がある。職員も同じテーブルを囲み会話を楽しみながらさりげない支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望すれば毎日入浴できる体制が整えられている。入浴拒否のある方にもその方のタイミングや言葉かけを工夫し、清潔を保つ支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出好きな方が多いので気候のよい時は週1回はドライブに出かけて気分転換を図っている。日常的な家事の際感謝や労いの言葉かけを行い、張り合いや喜びを引き出すよう努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地内の散歩、近隣への散歩、ドライブ等外出はごく日常的に行われている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害は十分理解しているが、現在はやむをえず防犯上及び利用者の安全確保の為、事業所門、階段扉、エレベーターは暗証番号で開閉を行っている。家族は暗証番号で自由に入出入りしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議に地域の消防署長を招き話し合いを行ったり、地域の消防団の協力が得られるよう働きかけたりと災害や緊急時の対策に積極的に取り組んでいる。非常食も備蓄されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材納入業者が栄養バランスやカロリー計算された献立を作成している。献立を元に食事制限のある方にも個別に対応している。水分摂取量も記録され一人ひとりに合った支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間のあちこちに観葉植物や花が飾られている。窓が大きく建物全体が明るくて開放感がある。交流のある小学校の生徒の手紙や行事時の写真の掲示もあり、あたたかい雰囲気である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた三面鏡、仏壇、家族の写真等馴染みの物が持ち込まれその方らしい居室となっている。		

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	せらび保土ヶ谷
(ユニット名)	1F
所在地 (県・市町村名)	横浜市保土ヶ谷区川島町1219
記入者名 (管理者)	新谷 誠
記入日	平成 20 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	せらびの理念にある利用者にとって「第2の家である」を実践するにあたり近隣に方々との交流を持ち利用者様に自分の家で気持ちよく生活しているような環境をつくるようにしている。		その人らしい個々の自由を大切にホーム内に提示しています。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	その人らしい個々の自由と個性を大切に家族としてこれまでの生活を尊重し個性を大切に取組んでいます。		ホーム内に提示して共有の取組みをしています。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族及び地域社会とのふれ合いを通じ地域に根ざした事業所である事を実践しています。		家族会、運営推進会議や年間行事を通して理解していただくようにしています。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩(日課となっている)を通し近隣の方の挨拶や、花をいただいたりしています。 近隣の農家の方に畑の指導を得てご利用者と共に収穫を共有できています。		近隣の方との挨拶や行事の声かけを行っています。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の主催する活動、掃除や老人会・お祭り・子供会の行事に参加 自治会にも入り回覧板など持って来て頂いています。		地域小学校、中学校交流会や職業体験の場の提供をしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	暖かい時など玄関前にてラジオ体操をし近隣の方々の参加を呼びかけています。 バーベキューの時等声をかけて参加して頂いています。		今後も続けていきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員や家族にも伝え結果を共有し今後の運営に役立つように話し合いを持っています。		今後も参加し改善に取り組んでいきます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営促進会議にて色々良い意見を頂き、近隣の方々によるSOSの協力や地域消防団の協力を得ることが出来ました。		継続して運営推進会議を行っていきます。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ボランティアの情報や高齢者に関する報告や勉強会の提供を受け積極的に参加しています。		続けていき質の向上に取り組んでいきます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要と思われる方には区担当者と相談し話し合いを行っています。		市・区の制度の勉強会や連絡事項を活用していきたいと思えます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	リーダー会議・ユニット会議、日夜勤の引継において個々の利用者の身体状況やモニタリングを行っています。 身体状況を全職員が把握できるように申送り日報など記録の徹底をはかり、利用者の変化は全職員が共有する事ができるとうにしています。		言葉遣いやマナーに力を入れ教育をしています。また防止に努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分に説明納得したうえで契約を結んでいただいています。		家族との話し合いを強化していきます。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	御利用者に参加して頂き議事録の提示をしています。		利用者様の訴えに対し日常の中でも傾聴しています。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月一回の小口現金報告時、事業所だよりで日常様子を報告し面会時や電話により個々に報告もしています。		個別のアルバムや職員のコメントを作成し提供していきます。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営会議及び家族会においてご意見を頂きできる限り反映しています。		今後も続けていき質の向上に取り組んでいきます。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月一回のユニット会議に意見を出してもらいホーム長は本社運営会議(月2回)に反映しています。		今後も続けていき質の向上に取り組んでいきます。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	ホーム長は全ての転につける状態にあり緊急時には通院対応や欠勤者の勤務を代行できるようになっています。またホーム近くの職員は夜間緊急時に対応できるような体制をとっています。		職員の増員も考慮していきます。
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	1F・2Fとの交流を密にし二ユニットの利点を活かし緊急時の対応ができる様にしており職員の異動時には御利用者のダメージを防ぐ配慮をしています。離職率を下げるよう職場環境を良くし仕事がしやすいものにしていきます。		職場の環境を良くし転職を防いでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	無資格者の資格取得の助成や法人内、外部の研修に受講していただいています。	無資格者の取得の助成をしています。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会やなどにも所属し会合や研修をしています。地域特養との交流をもちサービス向上に取り組んでいます。	学んだ事をいかしていきます。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ユニット会議時普段顔を合わせていない職員のため利用者含めた食事(外食・出前)など自由に話して頂いています。	休憩時間もきちんと取れるように協力体制つくっています。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の相談(仕事・給料その他)常に配慮しています。	よりいっそう配慮していきます。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族、御利用者ご本人共に面接を再度行い安心して利用できるように勤めています。	入所に対する不安を取り除くように接していきます。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の経緯を含めご家族、ご利用者の訴えを真摯に受け止めています。	ご家族との話合いの希望を受け入れられるように努力します。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接時のアセスメントに基づいて入所に至らなくても相談のり対応に努めています。		在宅、ケアマネ、病院相談員と話し合い、調整を行っていきます。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時ご自分のお気に入りのものを持ち込んで頂き、除々に慣れていただけるようご家族と相談しながら工夫しています。		これからも早く馴染める様に御利用者、御家族、職員との良い関係を築いていきます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に職員は御利用者とのコミュニケーションをとるようにし明るく楽しく温かくをモットーに良い関係を築いています。		そのまま取り組んでいきます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族には面会に来ていただいて、日常の様子を話し御家族にも関係を共有していただくようにしています。		ご家族との関係をより密にしています。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	支援しています。		支援していきます。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の来所、馴染みの場所や生まれ故郷への外出を行っています。		今後も続けていきます。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆様が日中趣味などを通して一緒に過ごし、職員とのコミュニケーションにより孤立しないように努力しています。		皆様が楽しく過ごせるように努力していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	状況を尋ねたり、訪問したり御見舞いに行ったりしています。		今後も続けていきます。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事や体操など決められた日課以外は個人の望む生活が出来る様に努めています。庭での作業を好む方、何か人の役に立っているということで笑顔が出る方には感謝の気持ちを表すうえで手作業をお願いしています。		個々に合った対応に努めています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活のコミュニケーションを通して幼少の頃や青年時代のことをお聞きし、その人の生活歴の把握に努めています。		日常に会話を通して御利用者との理解を深めていきます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の心身状態や有する力を見極めて、訴えを聞きながら会話をしたり見守るなど職員連携をとりながら一人ひとりの現状把握をるようにしています。		米とぎ、野菜きり、ゴミだしなどできることを増やしていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個人の疾病や身体、認知状況に合わせた介護計画を作成しています。御家族や主治医と連携を図っています。		御家族からの話から思考や趣味を聞いたりして介護計画に反映させていきます。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングと生活の状況を記録し、6ヶ月ごとに見直しを検討。個人のニーズに合わせた介護計画ができる様に努めています。		今後も継続して行っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録と健康チェックと管理日誌において、職員全員が状態把握ができるようにしています。		送りノートにより伝達の徹底を計ります。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じたサービスを心がけます。		状況に応じたサービスを心がけます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生員さんや消防自治会や地域の催しを共同で行い相互理解に努めます。		運営推進会議に力を入れていきます。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	出来ておりません。		今後の課題にしていきます。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き情報提供をしていただいています。		今後も続けていきます。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の指示や御家族との相談により状況に応じ適切な医療を受けています。		主治医、御家族との連携、医療の地域連携窓口を活用していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	個別により御家族と相談のうえ専門医への受診を行っています。		状況に応じて専門医の受診を続けていきます。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医との連携により定期的に看護師に看てもらってます。		今後も協力をさせていただきます。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中病院関係者との情報により退院に向けて話し合いを進めています。		今後も連携をしていきます。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御利用者が重度化した場合に係わる指針においた同意書の作成により共有しています。		関係機関と御家族との話し合いを今後続けていきます。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連携体制により支援の体制に取り組んでいます。		関係機関と御家族との話し合いを今後続けていきます。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供を密にしていきます。		情報提供を密にしていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員には個人情報に対し流出しない覚書を取り交わし、記録は鍵のかかる所に保管し、日常プライバシーに係わる対応をしないように指導しています。	よりいっそう強化徹底を図っていきます。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	コミュニケーションの中で御本人の希望にそって暮らせるように支援しています。	常に御利用者の気持ちに立って介護していけるようにしていきます。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別に支援しています。	個別に支援していきます。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	御本人の望む通りに行っています。	不自然な状態などは改善できるように見守っていきます。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	できる方には協力して頂き食事の準備に加わっていただいています。一緒に外食を楽しむ事もあります。	そのまま見守り続けます。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	可能な限り本人の嗜好を尊重しています。	行事のときや誕生日での飲酒や御本人の希望のメニューを調理していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人の排泄リズムを把握しトイレ誘導を行い習慣づけし尿意を自覚できるように支援しています。		個人のリズムを把握し失敗無くできるよう支援していきます。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴体制が出来ており本人の意思で入浴できるように取り組みをしています。		入浴拒否の方は週2回でも入っていただけるように声かけしていきます。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活のリズムにより本人の意思を尊重して自由に休息していただいています。		御本人の生活リズムを尊重していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	暮らしの中でその人のできる役割をもっていただく事により生活に張りを持っていただきます。		出来ることを引きさだし感謝の言葉掛けをしていきます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	好きなものを買ひ、御自分で仕払うように支援しています。		買い物をするたのしみを感じていただけるようにしています。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中の散歩から近くの公園、その他色々の外出を心がけています。		このまま体力に合わせた外出支援をしていきます。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別でふるさと見学や温泉旅行を実施しています。		温泉旅行も続けて行きたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話、自由にやりとりされています。		取次ぎなども正確に伝え安心してもらっています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由に来所されいつでも対応しています。		このまま継続して自由な環境を提供していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。		このまま身体拘束はいたしません。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関などの鍵はかけていませんが、庭が広いので周囲の門や裏口には暗証番号によりロックされています。御家族からの許可は入所時に頂いております。		現状を継続していきたいと思います。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中見守り、夜間は巡回により安全確認を行っております。		常に見守りの強化を行っていきます。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品の保管場所には鍵をかけています。御家族との話し合いで危険物の持ち込みは禁止しています。		今後も事故のないよう保管、管理していきます。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員会を持ち、ヒヤリハット、インシデント報告書により職員は事故を共有し再発防止に努めています。		話し合い、再発の防止の強化をしていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は定期的に消防署に来ていただき、防災及び応急手当訓練を受けています。		定期的に行い研修にも参加していきます。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	御利用者と共に避難訓練を行っています。地域の方の協力も話し合いできています。		地域の消防訓練なども参加していきます。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態に合わせて御家族との話し合いをしています。御本人にとってよりよい方法を考えおこないます。		御家族との話し合いを密にしていきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝の健康チェックや日常の様子観察により状況変化に気付いたら速やかに主治医との連携を取っています。		スタッフ全員で常に状態の把握ができる様にしています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医と連携し出来ています。		主治医との連携を密にしていきます。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックにより、水分や食事などの工夫に取り組んでいます。ヨーグルトを食べていただいています。排便困難時には主治医の指導を受け服薬しています。		水分、1日分の把握をしています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口空ケアの実施。声かけして行っています。		口腔ケアの必要性も研修によりスタッフに自覚してもらいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量をチェックしバランスや量が保たれているか確認しています。		記録を元に個人の必要量を見極めるようにしています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のマニュアルができています。手洗いうがいの施行。保健所の研修にも参加し知識を深めています。スタッフにも伝達しています。		感染症にかかった場合の意識を高めるようにしていきます。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消毒や衛生に関し業務マニュアルの中で行っている。新鮮なものを依頼し配達してもらっています。		安全な食材の確保に努めます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前、駐車場スペースにベンチを置いて気軽に休んで頂いています。周囲を樹木で囲み親しみをだしています。		花木を多く植えて雰囲気作りをします。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や行事にそっての飾り付けや花など通して居心地の良い空間を工夫しています。		御利用者と一緒に空間作りをしていきます。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの個々の席やテレビの前や廊下のソファーで個人でくつろげる工夫をしています。		御利用者と一緒に空間作りをしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	居室に馴染みの家具や好物をおいています。		居室に馴染みの家具や好物をおいています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	空調設備は完備されており全面窓があり換気や陽当たりも良 好です。		換気をこまめに行っています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	手すりや段差等バリアフリー化されており、自立した生活の 支援をしています。		できるだけ自立して暮らせるように工夫し事故防止に努め ていきます。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	混乱を招くようなものや音は避け注意しています。		注意を強化します。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	庭が広く木や季節の花を植えたり、野菜や実のなる果物を植 えたりして楽しんで頂いています。		楽しみにしていただいています。

サービスの成果に関する項目		。	
項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

外出の支援、その中でも昔なじみの場所や故郷など、日常生活の会話で出てくる思い出の場所を個別に対応し支援しています。

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	せらび保土ヶ谷
(ユニット名)	2F
所在地 (県・市町村名)	横浜市保土ヶ谷区川島町1219
記入者名 (管理者)	岡田 由紀
記入日	平成 20 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	せらびの理念にある利用者様にとって「第2の家である」を実践するにあたり、近隣の方々との交流を持ち、利用者様に自分の家で気持ちよく生活しているような環境を作るように努めています。		その人らしく個々の自由を大切にしたい理念をホーム内に掲示しています。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を各ユニットに掲示し共有している。生活を共にするうえで個々の自由と個性を大切に、これまでの生活を尊重し支援しています。		ホーム内に掲示し共有の取組みをしています。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	御家族及び地域社会とのふれ合いを通じ地域に根ざした事業所である事を実践しています。		家族会、運営推進会議や年間行事を通して理解していただくようにしています。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩(日課となっている)を通じ近隣の方々との挨拶を交わし、花をいただいたりしています。近隣の農家の方に畑の指導を得てご利用者と共に収穫を共有しています。		近隣の方々への挨拶や行事の声かけを増やしていきたいです。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の主催する活動、掃除や老人会・お祭り・子供会・町内会の行事に参加している。自治会にも入り回覧板など持って来ていただいています。		地域小学校、中学校交流会や職業体験の場の提供を増やしていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	見学、研修の受け入れを実施しています。		気軽に立ち寄れるよう工夫していきたい。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義について職員は認識し共有、今後の運営に役立つように話し合い改善しています。		自己評価・外部評価の結果を第三者また御家族が閲覧できるよう掲示していきます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて助言、意見を頂き災害時など近隣の協力を得ることができました。		2ヶ月に一回の運営推進会議にて助言や要望を頂きサービスの向上に努めていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ボランティアの情報や勉強会に提供を受け積極的に参加しています。		質の向上に取り組んでいきます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要と思われる方には区担当者と相談し話し合いを行っています。		市・区の制度の勉強会や連絡事項を活用していきたいと思えます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体状況を職員が把握し虐待の見過ごしがないか注意を払い防止に努めています。		言葉遣いやマナーに力を入れ教育をし防止に努めます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>面接時に十分な説明を行い、ご本人様またご家族に見学していただき、不安点や疑問点に関しその都度説明し理解また納得の上契約を結んでいただいています。</p>	<p>御家族との話し合いを強化していきます。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常での会話や表情、行動により利用者様の状態把握に努め不満等表せる環境に努めています。運営推進会議に参加していただいています。</p>	<p>利用者様の訴えに対し日常の中でも傾聴してまいります。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月一回の小口現金報告時、事業所だよりで日常様子を報告し面会時や電話により個々に報告もしています。</p>	<p>個別のアルバムや職員のコメントを作成し提供していきます。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議及び家族会、面会時においてご意見を頂きできる限り反映しています。</p>	<p>続けていき質の向上に取り組んでいきます。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回のユニット会議や日々の業務の中から意見を出していただきホーム長は本社運営会議(月2回)に反映しています。</p>	<p>続けていき質の向上に取り組んでいきます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に合わせた勤務の調整に努めており、ホーム近くの職員は夜間緊急時に対応できるような体制をとっています。</p>	<p>職員の増員も考慮していきたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1F・2Fとの交流を密にし二ユニットの利点を活かし緊急時の対応ができる様にし、職員の異動時には利用者様のダメージは少ない。離職は当人の理由もあるが、職場環境を良くし仕事がやりやすいよう努めています。</p>	<p>職場の環境を良くし転職を防いでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	無資格者の資格取得や法人内・外部の研修に受講して頂いています。	無資格者の取得の助成をしています。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に所属し会合や研修をしています。地域特養との交流を持ちサービスの向上に取り組んでいます。	他ホームとの交流を深め質の向上に努めていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	働きやすい環境づくりに努め休憩時間が確実にとれるようにしています。	職員のための外食会など増やしていきたいです。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の状況を把握し給与・賞与に配慮し向上心が抱けるよう努めています。	個々に目標を持っていただき研修、勉強会への参加を増やしていきたいです。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接を行い安心して利用できるように意見、希望を聴く機会をつくっています。	入所に対する不安を取り除くように接していきます。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の経緯を含め御家族が安心できるように不安や求めていることを聴く機会をつくっています。	御家族との話し合い希望を受け入れられるよう努力します。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接時アセスメントに基づいて入所に至らなくても相談にのり対応に勤めています。		在宅・ケアマネ・病院・相談員と話し合いの調整を行っていきます。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時馴染みのものを持ち込んでもらい、徐々に慣れていただけるように家族と相談しながら工夫をしています。		早く馴染めるように利用者様ご家族と職員がよりよい関係を築いていきます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活のなかで共に共感し支えあい明るく楽しく温かくをモットーに良い関係を築いています。		支えあう関係づくりに努めます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時日常の様子を報告し情報を共有していただき可能な限りケアへの参加を促しています。		認知症を理解していただきサービスの向上に努めます。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時、日常様子を伝え本人に合ったケアを共有していただき、また御家族からも指導していただいています。		面会に来やすい雰囲気づくりを行い支援していきます。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の来所・馴染みの場所や生まれ故郷への外出を行っています。		兄弟や親戚、友人などを訪れたり馴染みのある場所へ行く計画を増やしていきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆様が日中を通して一緒に過ごし職員とのコミュニケーションにより孤立しないよう努力しています。利用者同士の人間関係を理解しておりトラブルを事前に回避するように努めています。		皆様が楽しく過ごせるように努力していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	状況を尋ねたり訪問したり見舞いに行ったりしています。		関わりを必要としている利用者様、御家族との関係を大切にしていきたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で利用者様の状態を職員が常に共有し、その人らしさに重点を置き支援しています。		利用者様の自己決定を大切にしていきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントにて把握することによりその人らしさに重点を置き支援しています。		常に利用者様の現状把握に努めていきます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	会話、表情、態度から利用者様の把握に努め、職員が情報を共有することにより個々に合ったケアを支援しています。		出来ることを見つけ過ぎ方に工夫が出来るよう努めていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	生活状況を正確に把握することで関係者が情報を共有しカンファレンスを行い、課題に添った介護計画を作成しています。		個々の状態把握に努め家族を含めたカンファレンスをしていきたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	生活状況を毎月カンファレンスし見直しを行い、利用者様の状態に変化があれば速やかなプラン変更を実施しています。		個々の状態把握に努め御家族を含めたカンファレンスをしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、管理日誌、健康チェック、申し送りノートにおいて情報を共有しています。細かな記録を心掛けています。		個々の状態把握に努めます。記録の重要性の意識付けをしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況を把握に努め状況に応じたサービスを心掛けます。		状況に応じたサービスを心掛けます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員、消防自治会、ボランティア、小学校、中学校の協力を得て支援しています。		運営推進会議で働きかけ地域交流会の場の提供を増やしていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	行えておりません。		今後の課題にしていきます。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき情報提供をしていただいています。		蜜な連携をとり協働していきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医で継続したいという希望があれば尊重しています。主治医の指示や家族の相談により状況に応じ適切な医療を受けています。		早めの対応により利用者負担を軽減していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	個別により家族と相談のうえ専門医への受診行っています。状態変化時は相談行える環境であり御家族、職員が情報を共有する事により個々に応じたケアに努めています。		状況に応じて専門医の受診を続けていきます。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医との連携により定期的に看護師による往診があり利用者の状態を把握しています。日中は主治医に相談できる環境があり健康管理に努めています。		夜間対での特変時に関しては主治医に相談できる環境が無いため検討していきます。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中病院関係者との情報により退院に向けて話し合いを進めています。		連携に努めていきます。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様重度化した場合における方針の同意書の作成により共有しています。		関係機関と御家族との話し合いを続けていきます。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連携により支援体制に取り組んでいます。		関係機関と御家族との話し合いを続けていきます。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の場所へ移り住む際、必要な情報が得られるよう情報提供や話し合いを行っています。		情報提供を蜜にしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の状態に応じた声かけや対応に努めています。記録は他者の目に触れないようスタッフルームにて保管しています。</p>	<p>強化を図ります。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々の応じた対応に努め自己決定を尊重する支援をしています。</p>	<p>常に利用者様の気持ちに立ち支援していきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々のペースを把握し利用者本位のケアが行えるよう希望を尊重した支援に努めています。</p>	<p>職員の気持ちにゆとりが持てるような環境作りを心掛けていきます。</p>
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>買い物にて好みの洋服や化粧品など買っていただきおしゃれを楽しんでもらえるよう支援しています。馴染みの理容士が来られますが本人の希望により美容院に行ったり、ホームでの毛染めも行っています。</p>	<p>個別に支援していきます。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一緒に作業することにより、教え、教わりながら支援しています。</p>	<p>利用者との献立作りの機会を増やし提供していきたいです。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一緒に買い物へ行き好みの物を購入していただいています。御家族の方々も好みの物を差し入れしてくれます。</p>	<p>行事や誕生日など本人の希望した特別メニューを提供していきます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄状況、誘導時間を記録することにより個々のパターンを把握し支援に努めています。		自立者の把握に努めていきます。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調にもよるが本人の希望も取り入れ状態により回数を調整し支援しています。温泉に行くことも取り入れています。		拒否がある方への声掛けを工夫し支援してまいります。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リビングにもソファを置き休息が取れるようにしています。生活のリズムを崩さないよう昼などの休息は体調に考慮し休んでいただいています。		御本人の生活リズムを尊重してまいります。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴、趣味、特技や日常の会話でのなかでの希望情報を職員で把握し、日々の生活で反映されるよう支援しています。		出来ることを引き出し支援してまいります。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じお金を所持し、買い物での支払いをしていただいています。		買い物する楽しみを持っていただけるよう支援してまいります。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候にもよりますがほぼ毎日散歩には出掛けており買い物や外食、ドライブ等支援しています。		体力にあわせた外出の支援をしてまいります。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	故郷や博物館、デパートや温泉、旅行等個別対応の支援を行っています。		外出を増やし刺激のある生活を支援してまいります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族の了解によりやり取りができるよう支援しています。		やり取りが増えるよう支援していきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	挨拶はもちろんのこと笑顔で接し、気軽に訪問できるような雰囲気作り心掛けています。		自由な環境を提供していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について理解し、行っていません。		身体拘束0を目指していきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関施錠していないが表門は安全対策上施錠している。ユニットの出入り扉も施錠しているが利用者様の意思を尊重して柔軟に対応している。利用者様の意思にて居室に鍵を掛ける事もあります。		鍵を掛けないケアを意識し対応するように努めていきたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら所在を把握し、夜間は巡回により安全確認を行っています。		様子の把握、見守りの強化をしていきたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物には手が届かないよう工夫しています。		事故のないよう保管、管理していきます。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員会を持ちインシデント、ヒアリハットを活用しユニット会議で話し合い事故防止に努めています。		再発防止の強化をしていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年一回消防署に来ていただき応急手当の訓練を行っています。		定期的に訓練を行い研修の参加も増やしていきたいです。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導で年一回の避難訓練を実施しています。消防署への直通電話あり、地域との協力体制もできている。		スプリンクラーの設置をしていきたい。地域の消防訓練にも参加していきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ユニット会議、緊急時にはその都度対応策を話し合っており、家族には面会時や電話連絡にて説明しています。		家族との話し合いを蜜にしていきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定時バイタルチェックの実施、体調変化や異変あった場合は速やかな対応につとめ医療との連携を図っています。		観察力の強化に努めます。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬表をファイリングし理解しています。症状の変化を見逃さないよう努めています。		観察力の強化に努め、主治医、薬剤師との連携を蜜にしていきます。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便リズムを把握に努め、飲食物の工夫に努めています。また便困時に主治医の指導を受けています。		水分量の把握を行い便秘予防に努め支援していきます。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの研修に参加し職員が重要性を理解し毎食後の口腔ケアを実施しています。		口腔ケアの必要性を研修により再認識していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日チェックし把握、食事のバランスや摂取量保たれているか確認しています。月2回体重測定行っています。		記録を元に個人の必要量を見極めていきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	保健所の研修に参加し研修内容をスタッフに伝達し知識の向上に努め感染予防のマニュアルを作成し認識しています。手洗いうがいを徹底し毎日手すり、椅子、テーブル等の消毒を実施しています。インフルエンザ予防接種しています。		面会者の手洗い、うがいを徹底していきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品の消毒や衛生管理に関してのマニュアルを作成し、また食材を依頼し配達していただき不信な場合依頼先に連絡、安全な食材の使用と管理に徹底しています。		安全な食材の確保と管理に努めていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	駐車場スペースにベンチを置き気軽に休んでいただいています。建物周囲に草花を植え親しみを出しています。		花や木を多く植えて雰囲気作り行っています。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせご利用者様の意見を取り入れ飾りつけや花を置き居心地の良い空間作りをしています。		利用者と一緒に空間作りしていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き個人や利用者同士でくつろげるように工夫しています。		利用者と一緒に空間作りしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様になじみの家具や愛着のある物を使用させていただき居心地良く過ごしていただくよう工夫しています。		在宅時に近い空間作りの工夫に努めていきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空調設備や全面窓があるため陽当たりや十分な換気を行える環境にあります。また利用者様の様子また訴えある場合にエアコンにて温度調整行っています。		換気をこまめに行っていきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや段差等バリアフリー化されており、自立した生活の支援をしています。		できるだけ自立して暮らせるように工夫し事故防止に努めたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗みられた場合、その都度スタッフ話し合い改善し、自立また安心して暮らせるよう支援しています。必要箇所には目印をつけています。		モニタリングにて個々の状態を把握し支援していきます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭が広く木や季節花を植えたり野菜や実のなる果物を植え楽しんでいただいています。		広い庭での活動をふやしていきたい。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

散歩、外出を多く取り入れ閉じこもりの生活にならないよう支援に努めています。